龍ケ崎市民の足となる 竜ケ崎線
～人々と竜鉄の関わり～

発行日
2017年 9月9日
発行責任者
龍ケ崎市立
久保台小学校 5年
髙田 大夢

お客様の不満の声

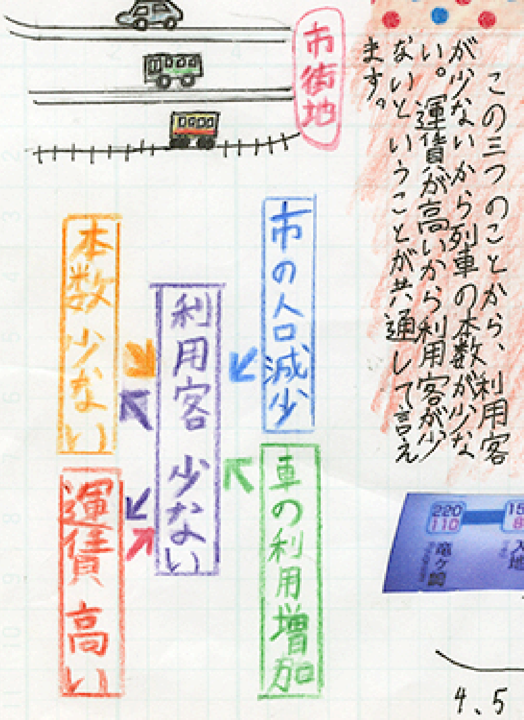
竜ケ崎線「竜鉄」を利用している人に聞きました。多くの人が「列車の本数を増やしてほしい」と答えました。「利用客が少ない、列車の本数が少ない、運賃が高い」この三つの共通点を探りました。

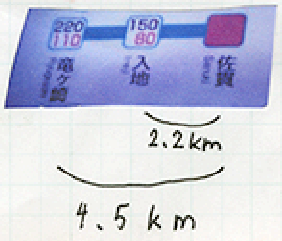
まず初めに「利用客数」について。竜鉄の駅の中で一番乗降客が多い佐貫駅。佐貫駅はJRに乗り換えができる駅であり、龍ケ崎市の中でも一番大きな駅です。この佐貫駅の一日の乗降客数は二、三一三人と利用客が少ないことが分かります。

次に「列車の本数」について。利用客が最も多い朝夕のラッシュでは、一時間に三本、利用客が少ない日中は、一時間に二～一本しか走っていません。このためお客様は、「列車の本数が少ない。もっと増やしてほしい」と答えました。それに対して駅員さんは、「利用する方が増えないと列車の本数を増やすことはむずかしい。通勤、通学以外にも、観光など広く使ってほしい。」と述べました。また、おぎなえない分は、バス運行をしているそうです。

最後に「運賃」について。関東鉄道は他社よりも、少し運賃が高いと思われます。竜鉄の佐貫駅～入地駅の二、二Kmが一五〇円、佐貫駅～竜ケ崎駅の四.五Kmが二二〇円です。こどもは半額で八〇円と一一〇円で明らかに高いと言えます。

この三つのことから、利用客が少ないから列車の本数が少ない。運賃が高いから利用客が少ないということが共通して言えます。





コロッケ列車誕生

竜鉄が走る龍ケ崎市は、「第2回ご当地メシ決定戦2014」で「龍ケ崎コロッケ」が見事一位に輝きました。

昨年、「コロッケフェスティバル」にちなんで、「つり革にレプリカコロッケを取り付けた、コロッケ列車が運行されました。竜ケ崎線三両中二両に取り付けられ、かべなどには、フレーズが書かれたステッカーもはられました。通勤のために毎日同線を利用する龍ケ崎市、ショップ店員、清崎宮麻衣さん(19)は、「最初見たときは本物かと思って驚き、見直した。このつり革を見ると、お腹がすいて、コロッケが食べたくなる」と話しました。（茨城新聞より 2016.10）

龍ケ崎の観光に

観光に来た人にオススメなのが「竜鉄コロッケ★フリーきっぷ」。竜鉄乗り放題はもちろん、一七の対象店の中から一店のコロッケ一五〇円割引券も付いています。さらに、加盟店のクーポン券まで!一枚五〇〇円での販売です。佐貫駅、竜ケ崎駅、駅ビル内にある龍ケ崎市観光物産センター「まいりゅうショップ」で発売しています。ぜひ、龍ケ崎へ観光に来てください。そしてこのきっぷを使って、龍ケ崎を満喫してください。

地域と竜鉄

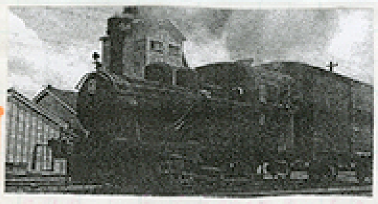
① 竜鉄には踏切がたくさんあります。その中でも約三分の二が警報機や遮断機が付いている第一種踏切で、約三分の一が警報機や遮断機が付いていない第四種の踏切です。関東鉄道では、警報機、遮断機が付いていない踏切に列車が近づくと、運転士が警笛を鳴らして知らせます。踏切には「止まれ」の注意書きや道を黄色くぬることで横断者に注意を呼び掛けます。また、見通しの悪い所ではミラーを設置することで、運転士から見えやすく、事故を防ぐことができます。

② 関東鉄道の列車はディーゼルカーです。エンジンで動いているため、列車の屋根からけむりが出てしまいます。そのけむりで周辺の家の屋根が茶色くなってしまうそうです。

③ 竜鉄の開通

〈関東鉄道竜ヶ崎線開通までの年表〉

年	できごと
1895	竜ヶ崎馬車鉄道の計画書が出される。日本鉄道土浦線（今の常磐線）友部－土浦間開通
1896	日本鉄道土浦線（今の常磐線）土浦－田端間開通
1897	竜ヶ崎馬車鉄道の計画がきょかされる。相馬町に日本鉄道土浦線「藤代駅」ができる。
1898	竜ヶ崎馬車鉄道会社ができる。馬車から蒸気機関車鉄道に計画がかわる。
1900	竜ヶ崎鉄道が開通。「佐貫停車場」ができる。



「わたしたちの龍ケ崎」（龍ケ崎市教育委員会）より

安心・安全に利用できるには

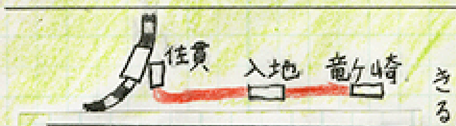
お客様がもっと安心、安全に竜鉄を利用するには、どんなところを直せばいいか考えました。

① 車両のドア付近で見つけました。ドア付近には階段があり、さらにホームとの大きな段差があるので、車椅子やベビーカーが乗車しにくく、足の悪い方の乗り降りが大変になってしまいます。なので、階段をゆるやかな坂にし、ホームを高くして段差を小さくすることで、ますます便利に利用できるようになると思います。

だれにでも安全で、安心して利用できるユニバーサルデザイン!

もっとみんなが使いやすい竜鉄になってほしい!!

② 駅のホームで見つけました。竜ケ崎駅と佐貫駅（朝のみ）は、改札に駅員がいます。駅に列車が近づくまで改札が始まらないので、ホームでの事故を防ぐことができます。しかし、入地駅と佐貫駅（朝九時以降）は、いつでもホームに入れます。竜鉄の駅では列車が来ることを知らせる放送がありません。なので、案内の放送を流すことで全ての駅の事故を防ぐことができると思います。



		佐貫駅	入地駅	竜ケ崎駅
改札		○	×	○
駅員	朝	○	×	○
	日中	×	×	○
	夜	×	×	○

編集後記

今回は、二回目の新聞作成となり、前回よりも見やすく、分かりやすくなるように、色使いを工夫しました。「人々と竜鉄の関わり」をテーマとして、前回の取材から気になっていたお客様の意見を元に、トップ記事を書きました。それ以外の新聞の情報もたくさん集め、今回の新聞を完成させました。前回は二人で作成しましたが、今回はぼく一人で作成したため、前回よりも時間がかかってしまいましたが、完成し、嬉しく思います。取材に応じたみなさん、心より感謝します。